

多キヲ加フルト共ニ品種亂雜トナリ當業者之ガ選擇ニ迷フコト多シ本縣原蠶種製造所ニ於テハ優良ナル品種ヲ選定シ品種ノ統一ヲ圖ルノ計アリ。

本縣ノ養蠶ハ近年ニ至リ急速ノ發達ヲ見タルト共ニ一方農家ノ中ニハ之ガ飼養上ノ技術ニ未熟ナル爲給桑除沙分箔溫度濕度ノ關係眠起ノ取扱蠶病ノ防除上策法等ニ涉リテ之ガ方法ヲ誤ルコト多シサレバ養蠶教師ヲ雇フテ之ガ傳習指導ノ方法ヲ講ズルノ町村多シ。

桑園モ桑ノ品種ノ選擇及ビ手入概シテ幼稚ニシテ荒廢セルモノ多シサレバ施肥害蟲驅除耕耘桑葉ノ摘採株直シ等ニ改良ヲ加ヘ其桑ノ多産ヲ圖ルコト甚ダ必要ナリ。

繭柑橘茶米畜産物其ノ他多クノ農産物ノ販賣ニ當リ仲買人ノ爲ニ暴利ヲ貪ラレ農業者ノ不利益ヲ被ルコトハ甚ダ大ナリ販賣組合又ハ他ノ方法ニヨリテ共同販賣ヲナストカ何等カノ方法ニヨリテ此ノ弊害ヲ防グコトハ農家ノ急務トスル所ナルベシ。

副業ヲ經營シテ農家ノ所得ヲ増スコト亦甚ダ必要ナリ。

農事改良ハ農業者ノ所得ヲ増シ農業ノ隆盛ヲ來ス源ナリ特ニ本縣農家ノ實際ニ於テハ簡易ナルコトニシテ改良ヲ要スルコト多クレバ農家ハ常ニ農事改良ヲ念トシ銳意業務ノ刷新ヲ圖ラザルベカズ。

第六十五課 農會ト農事試驗場

要旨 農會及農事試驗場ノ設立並ニ農家ノ兩者ニ對スル覺悟ニツキテ教フ。

準備 農會ノ系統圖、勸業月報、農事試驗場報告等。

教授事項

一、農會 (1) 設立 農會ハ農業者ノ農業ノ知識ヲ進メ、農事ノ改良發達ヲ圖ラン

ガ爲ニ法律ニヨリテ設ケラレタル農業者ノ團體ニシテ、市町村農會、郡農會、道府縣農會、帝國農會ニ別チ互ニ聯絡セリ。

(2) 事業 農事ノ試驗調査、研究ヲナシ、講習、講話或ハ文書ニヨリテ農業者ノ知識ヲ啓發シ、農産物其ノ他ノ共進會品評會ヲ開キ農業者ト政府トノ連絡ヲ圖ル等ノ事業ヲナス。

(3) 農業者ノ覺悟 農業者ハ常ニ農會ト連絡シテ農事ノ改良ヲ圖ル心懸ヲ要ス。

二、農事試驗場 (1) 設立 農事試驗場ハ農産物ノ改良、増殖ニ關スル各種ノ試驗

ヲ行フ所ニシテ、國立、府縣立、郡立或ハ私立ノモノアリ。

(2) 事業 本縣ノ農事試驗場ニテハ各種ノ農業上ノ試驗ノ外種々ノ事業ヲナ

ス。
 (3) 農業者ノ農事試験場ニ對スル覺悟 農業者ハ試験場ノ調査報告試験成績ニ注意シ、時々參觀シ、疑問ヲ質シ、以テ農業上ノ知識ノ啓發ニ力メザルベカラズ。

備考

本課ニ云フ農會ハ法律(農會法)ニヨリテ設立セラル、モノニシテ、大日本農會ト稱スル團體アレドモ法律ニヨリタルモノニアラズ、今農會法(明治三十二年發布法律)及ビ農會令(明治三十三年發布)ノ條項ヲ採萃センニ、農會法第一條ニ、農會ハ農事ノ改良發達ヲ計ル爲ニ設立スルモノトス、トアリ。農會令ニハ第一條ニ、農會ハ市町村農會、北海道及府縣農會トス、ト、第二條ニ、市町村農會ノ區域ハ市町村又ハ町村組合ノ區域ニ依リ、郡農會ノ區域ハ郡、道府縣農會ノ區域ハ道府縣ノ區域ニ依リ、トアリ、第三條ニ、市町村農會ハ其區域内ニ於テ耕地又ハ牧場ヲ所有スル者及ビ農業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織シ、郡農會ハ其區域内ノ町村農會ヲ以テ之ヲ組織シ、道府縣農會ハ其ノ區域内ノ郡農會ヲ以テ之ヲ組織ス、第四條ニ、市町村農會ヲ設立スルニハ次ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス、(1) 會員ノ數第三條ノ資格ヲ有スル者ノ二分ノ一以上ナルコト、(2) 其區域内ニ於テ會員ノ占有又ハ所有スル耕地及ビ牧場ノ面積ガ私用ニ供スル耕地及ビ牧場ノ總

面積ノ二分ノ一以上ナルコト、ト第五條ニ、郡農會ヲ設立スルニハ之ヲ組織スル農會ノ數、其區域ノ町村及ビ町村組合總數ノ二分ノ一以上タルコトヲ要ス、第六條ニ、道府縣農會ニアリテハ農商務大臣、其ノ他ノ農會ニアリテハ地方長官ニ於テ必要ト認ムル時ハ農會ニ加入セザレモノニ對シテ之ガ加入ヲ命ズルコトヲ得、トアリ、第九條ニ、郡農會、道府縣農會ヲ設立シタルトキハ之ガ會議ニ參列セシムルガ爲其農會ノ總組スル農會ニ於テ、三名以内ノ代表者ヲ選擧スベシ、ト、第十條ニ、農會ハ農事ニ功勞アルモノ又ハ農事ニ關シ學識經驗アルモノヲ名譽會員トナスコトヲ得、名譽會員ハ議決權ヲ有セズ、ト、第十一條ニ、農會ハ會長及ビ副會長各一名ヲ置クベシ、第十二條ニ、會長及ビ副會長ハ市町村農會ニテハ會員ヨリ、其ノ他ノ農會ニテハ第九條ノ代表者ヨリ之ヲ互選ス、但シ名譽會員中ヨリ選擧スルヲ妨グズ、第十三條ニハ、農會ノ經費ハ市町村農會ニアリテハ其ノ會員ノ負擔トシ、其ノ他ノ農會ニアリテハ之ヲ組織スル農會ノ負擔トス、ト、第十八條ニ、農會ハ農事ノ改良發達ニ關スル事項ニツキ行政廳ニ建議スルコトヲ得、農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ、トアリ、以上ニヨリテ農會ノ目的設立種類其他ヲ察知スルニ足ラン、而シテ本縣ニハ各町村概ネ町村農會、各郡ニハ郡農會ノ設立アリ、其ノ上ニ和歌山縣農會アリテ之ヲ統一シ其ノ事務所ヲ縣廳内ニ置ケリ。

農會ハ其ノ目的ヲ達スル爲種々ノ事業ヲナス、(1) 農事ノ試驗ハ主ニ農事試驗場ニテ行ヘドモ其ノ設ケナキトキ或ハ其ノ設ケアルモ町村郡内ニテ重要農事ニツキテハ試驗ヲ行フコト

アリ、農業上耕種、販賣、養蠶、養畜其他ニ亙リテ方法上ノ利害得失或ハ區域内若クハ他方ノ農事狀況ヲ調査研究ヲナスコトアリ。(2)講習講話ハ本縣各農會ニ於テ常ニ行フ所ナリ、例ヘバ縣農會ニ於テハ大正五年度ニハ農村婦女子ノ爲ニ委任官技術者ヲ派シテ農事ノ講話ヲナサシメタルガ如キ其一例ナリ。又本縣農會ニ於テハ勸業月報ナル雜誌ヲ發行シテ希望者ニ實費ニテ販賣シ、購讀者ニ農業上ノ智識ヲ増シ兼テ農會經費ノ補助ヲ得ル途トセリ。(3)品評會時ニ共進會ヲ開催シ、當業者ニ出品セシメ生産品ノ良否ヲ定メ、當業者ノ參考ニ供シ或ハ賞品、賞狀ヲ與ヘテ農業者ヲ獎勵スルコトアリ、本縣農會ハ大正六年一月柑橘品評會ヲ開キテ當業者ニ利益ヲ與ヘタルガ如キ之ナリ。又農會ハ農事ノ發達ヲ促ス爲ニ必要ナル事ニハ之ガ補助金ヲ交付シ、或ハ設計ヲ助クル等ノ事業ヲナスコトアリ。(4)行政廳ニ於テ農業發達改良ノ爲、肥料病蟲害耕種製造、販賣等一般農事上必要ナル訓令規則ノ類ヲ發シタル場合ニ、之ガ主旨ヲ農業者ニ徹底セシムル爲、農會ノ協力スル場合甚ダ多シ。又農業者ノ爲利益アル施設ヲ官廳ニ建議スル等、農會ハ官廳ト農業者トノ連絡ヲ圖ル機關トシテ必要アリ。コレ等ノ事業遂行上、郡縣農會ハ勿論、町村農會ニモ相當ナル技術者ヲ雇ヒオクテ常トス。又之ガ爲農會ハ經費ヲ要スルコト多ク、其費用ハ皆下級農會ノ會員ノ負擔スル所ナレドモ公費ノ補助アルヲ常トス、又政府ニテモ國庫金ヲ毎年支出シテ之ヲ補助セリ。

農業者ハ農會ト相依リ相助ケテ農事ノ改良ヲ圖ル心懸ヲ要ス。然ルニ實際ニ於テハ農業者ハ農會ノ注意ヲ受ケ又ハ講話ノ聽講ヲ勸誘セラレ、際往々之ヲ厄介視シ之ニ對シ不眞面目ナルモノ夥カラズ。甚ダ憂フベキコトナリ、宜シク農會技術者ハ輕薄ニシテ傲慢ナル態度ヲ去リ、誠心事ニ當リ、會員ハ熱心農會ノ指導ニ從ヒ以テ農事ノ改良ヲ計ラザルベカラズ。

農事試驗場ハ特種ノ法律ニヨリ設立サル、モノニアラザレバ其設立ハ甚ダ自由ナリ、官公立ノ外私立ノモノモ夥カラズ、個人經營ノ各種試作地ハ特ニ試驗場ト命名サレザレドモ、規模ノ小ナルモノト看做シ得ベシ。

國立即チ農商務省ノ直轄スル農事試驗場ノ中、西ヶ原本場ニテハ土壤、肥料、病蟲害、耕種法等ノ原理ニツキテ主トシテ研究シ、興津ノ園藝部ニテハ果樹、蔬菜ニ關スル一般研究ヲナシ、兼テ園藝ニ關スル專門技術者ヲモ養成セリ。畿内支場(大阪府)ニテハ特ニ米麥ノ品種改良ニツキ、奥羽支場(秋田)九州支場(熊本)ニテハ夫々寒地、暖地ノ農業ニツキテ研究セリ。

本縣ニハ縣立農事試驗場アリ、専ラ本縣ニ適切ナル農事試驗ヲナス。本場ニテハ種藝部ニテ米麥ノ品種改良試驗、品種試驗、耕種法ニ關スル試驗、稻ノ特性試驗、原種栽培、豐凶考照試驗等ヲ行ヒ、化學部ニテハ縣内各地ノ土壤標準、施肥料調査、肥料ニ關スル試驗及ビ一般農業者ノ依頼ニヨル分析等ヲナシ、蔬菜園藝部ニテハ蔬菜ノ品種耕種法ニ關スル試驗、見本栽培、種苗ノ配布等ヲナス。田殿村ナル園藝部分場ニテハ果樹園藝部ニテ果樹園ノ經營ニ關スル各種ノ試驗、滋州蜜柑優良系調査ヲナシ、病蟲害部ニテ青酸瓦斯燻蒸、二化螟、蟲葉、蕨、蟻、蛾、瓜、蠟、柑、橘、落葉病等害

蟲ニ關スル試驗、ベタリヤ、蠶蟲ノ飼育、病害ニ關スル試驗(稻熱病、西瓜等ノ漏地病、柑橘象皮病、柑橘虎斑病、瘡癩病、斑葉病等)及ビ重要害蟲(實物標本)製作シテ之ガ配布ヲ行フ、又場外試驗トシテ柑橘、桃梨病蟲害ニ關スル試驗ヲ行ヘリ、又本場及ビ園藝部共ニ試驗成績ハ報告書ニ印刷シテ之ヲ發表セリ、又本縣試驗場ニテハ甲種農學校卒業以上ノ學力ヲ有スルモノニツキテ見習生ヲ入場セシメ、一ケ年間農業上各種ノ實習及學理ヲ課シ技術者ヲ養成セリ、尙ホ農事ニ關スル模範ヲ示シ調査設計ヲナシ、隨時講話、講習、傳習、質問、答種、苗配、布農具、貸與、鑑定等ヲナス、本縣農事試驗場ハ本場園藝部共ニ參觀者及ビ質問ヲナスモノ漸次増加スルノ傾向アリ、喜ブベキ事ニシテ農業者ハ宜シク試驗場ヲ利用シ農業上知識ノ啓發ニ力メ以テ農事ノ改良ニ資スル所アルヲ要ス。

現今私立農事試驗所トシテハ大原農業研究所(岡山縣堀田家農事試驗所)、千葉縣松平農事試驗場(福井縣)、立花農事試驗場(福岡縣)等甚ダ有名ナリ、又畜産ニ關シテハ農商務省ニ畜産試驗場置カレ其ノ支場ニ月寒(北海道)、七塚原(廣島)、天分(谷)、東京府)ニ設ケ、畜産ニ關スル試驗研究模範的經營技術ノ普及ニ力ム。

第六十六課 農家ノ金融

要旨 農家金融ノ必要特性機關及ビ金融ニ對スル農業者ノ覺悟ニツキテ教フ。

教授事項

- 一、農家金融ノ必要 農家モ資金ヲ要スルコト多シ。
- 二、農家金融ノ特性 農業ハ資金ノ回收遲ケレバ借入金ハ低利長期ノモノナラザルベカラズ。
- 三、農家金融ノ機關 勸業銀行ト農工銀行トアリ。前者ハ東京ニアリテ日本全國ヲ營業區域トシ、後者ハ一府縣ヲ限リトス。何レモ不動産ヲ低當トシ又ハ或團體ヲ限リ無抵當ニテ長期低利ノ貸付ヲナシ、其ノ返済ニハ年賦償還ノ法設ケラル。
- 四、金融ニ對スル農家ノ覺悟 本邦ノ農家ハ一般ニ負債多ク且高利ノモノ少カラズ。農家ハ勤儉貯蓄スルト共ニ之等ノ金融機關ヲ利用スベキナリ。

備考

今日ノ生産業ヲ營ムニ資本ヲ要セザルモノハナシ。農業モ之ヲ營ムニハ多大ノ資本ヲ要ス。而シテ資本ハ貨幣ヲ以テ辨ズルコトヲ得ルモノナレバ、茲ニ資金ノ必要ヲ生ズルナリ。農家ノ資金ヲ要スル場合ハ種子、肥料、農具ノ購入、養蠶用具ノ新設備、農舍ノ建築、修繕、労働者ノ雇入、自己ノ生計費、土地改良、耕地整理ノ施行、土地ノ購入、其ノ他不測ノ障害ヲ來タシタル時等ナリ。之

等必要ノ資金ハ農業ノ利得或ハ自己ノ貯財ニヨリテ辨ズベキモノナレドモ其ノ額多キトキ或ハ自己ノ所得少ク餘裕乏シキトキハ他ヨリ借入レザルベカラズ。此ノ際資金融通ノ便ヲ缺クトキハ農家ノ困難不利多カルベシ。

農家ノ資金ニシテ流動資本ニ用ヒタルモノハ運轉速ナリト雖モ土地建物其ノ他ニ投シタル資金ハ數年ヲ經ザレバ償還セザルベシ。サレバ農家ノ借入金ハ長期低利タルヲ要スルコト多シ。然ルニ一般資金融通ノ機關タル銀行ハ貸付ノ期間短キヲ欲シ且家屋土地ノ如キ不動産ヲ抵當トシテ貸出スヨ好マズ。本縣ノ各地銀行ニテモ土地建物ヲ抵當トセル貸金ノ利ハ子公債證券或ハ商品ヲ抵當トセルモノニ比シテ年利一分ダケ高キヲ當トス。サレバ普通銀行ニヨルトキハ利益多カラザル農家ハ高利ノ借入金ヲナシ益々農業ノ利益ヲ減少スルコトトナリ農家ノ不利甚ダシ。

日本勸業銀行ハ明治二十九年發布ノ法律日本勸業銀行法ニヨリテ設ケラレタルモノニシテ東京ニアリ。此ノ銀行ハ農業工業ノ改良發達ノ爲資本ヲ貸付スルヲ以テ目的トシ五十個年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニヨリテ不動産ヲ抵當トシテ貸付ク但シ法律ヲ以テ組織セル公共團體ニハ抵當ヲ徵セザルヲ得。又抵當トスベキ不動産ハ凡テ第一抵當ニシテ土地ハ確實ナル收益ノ見込アルモノ又建物ハ凡テ保險付ノモノニ限リ貸付金額ハ抵當物鑑定價格ノ三分ノ二以内トス。年賦金ハ一年以上五年以内ニ於テ据置年限ヲ定メ元金ト利子トヲ併セテ各年

ヲ通シテ一定平等ノ償還額ヲ定ムルモノナリ。又勸業銀行ノ配當金年百分ノ五ニ達セザルトキハ政府ハ創立初季ヨリ十個年ヲ限リ之ニ達セシムベキ金額ヲ補給スル定ナリ。又此ノ銀行ハ割増金付抽籤償還ノ債券ヲ發行シテ資金ヲ得ルノ特權ヲ有ス。日本勸業銀行ノ大正三年度(年末)貸出總高ハ二億三百三十二萬圓ニシテ内農業資金ハ八千五百九十三萬圓ナリ。

農工銀行ハ明治二十九年發布ノ法律農工銀行法ニヨリテ設立サレタルモノニシテ勸業銀行ト同ジ目的ニテ資本ヲ貸付クルナリ。此ノ銀行ハ一府縣ヲ以テ一營業區域トシ一營業區ニ一行ヲ限トス。株主ハ其營業區域ニ住居スル者ニ限ル。三十年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニヨリ不動産ヲ抵當トシテ貸付ヲナス。但シ法律ヲ以テ組織セル公共團體及耕地整理ノ際參加土地所有者總員ガ連帶責任ヲ以テ申出テタルトキハ無抵當貸付ヲナス。無限責任ノ信用組合購買組合生産組合又ハ二十人以上ノ農業者又ハ工業者ガ申合セ連帶責任ヲ以テ信用ヲ申出テタルトキハ信用確實ナルモノニ限リ五ヶ年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲナスヲ得。貸付ハ凡テ農業工業ノ改良ニ使用スルモノニ限ル。抵當ニ關スル條件鑑定等ハ總テ勸業銀行ニ同ジ。農工銀行ニ對シテハ政府ハ拂込ノ三分ノ一以内マテ株式引受資金ヲ支出シ又創立初季ヨリ十個年間拂込資本金額ニ對シ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ超過セザルガケノ營業補助金ヲ交付スル規定ナリ。和歌山縣農工銀行ハ和歌山市ニアリ其ノ大正三年度ニ於ケル年賦償還貸付ノ年末現在高ハ百六十四萬圓同特別小口ノモノ二十一萬圓定期償還貸付ノ年末

現在高ハ三十五萬圓ニシテ合計二百二十萬圓餘ノ貸付ヲナセリ。

農工銀行ハ株金ノ外預金ニヨリテ資金ヲ得レドモ、必要ニ應ジテハ勸業銀行ヨリ借入ル、
モノナリ。勸業銀行ハ他ノ途ニヨリテモ當業者ニ資金ノ貸出ヲナセドモ、農工銀行ヲ通ジテ農
工業者ニ貸出ス事トナリ。兩銀行ノ關係ハ甚ダ密接ナリ。

勸業銀行ハ農工業者ノ爲長期低利ニ貸出スヲ方針トスレドモ農家ノ實際ニ於テハ借入金
ニ流動資本トシテ用フル短期ノモノ多キヲ以テ信用組合等ニ對シ短期貸付ノ便法モ設ケラ
ル、ニ至レリ。

今ヤ全國農家ノ總負債額ハ七億五千萬圓弱ニシテ一戸百三十五圓平均ノ負債ニ當ル。其ノ
負債ノ原因ハ約三割五分ハ生計困難ノ爲、一割五分ハ不測ノ障害ノ爲、三割ハ農業資金ノ爲、二
割ハ其ノ他ノ爲ナリト云フ。モトヨリ略算ナレドモ其負債ノ多キコト察スルニ餘リアリ。而シ
テ此借入金中低利ノモノハ少ク、多クハ普通銀行個人資金業者、質屋、頼母子講或ハ私人ヨリ借
入ル、モノニシテ、利子ハ比較的高ク多クハ一割以上二割以下ナリ。即チ總負債者ノ八割負債
額ノ六割五分以上ハ一割以上ノ利子ヲ拂ヘリ。此ノ利子支拂ノ爲ニ農家實際ノ所得ノ減少セ
ラル、モノ甚ダ多シ。

農家ハ勤儉貯蓄ノ必要アルト共ニ一方ニハ農業ノ利益リ増ス爲ニ必要ナル資金ヲ之ニ投
ズルノ要アリ、假令農事改良ノ方法及ビ其ノ必要ヲ知ルモ、之ガ爲必要ナル機械原料ヲ購入ス

ルコトヲ得ザレバ之ヲ實地ニ行フコト能ハザルベシ。サレバ斯ル場合ニ資金借入ノ必要アル
トキハ之等ノ銀行ヲ利用スルコト甚ダ肝要ナリ。

第六十七課 産業組合及ビ農業倉庫

要旨 産業組合ノ設立種類及ビ農業倉庫ニツキテ教フ。

準備 農村ニ設ケラル、産業組合ノ役員、組合員、資本金、事業等ニツキテノ一覽表。

教授事項

- 一、産業組合(1)設立 産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ圖ラン
ガ爲ニ設立セラル、團體ナリ。
- (2)種類 信用組合、購買組合、販賣組合、生産組合等ノ別アリ。
信用組合ハ組合員資金ヲ出シ、組合員ニ對シテ生産ニ必要ナル資金ヲ融通
シ、且預金ヲ取扱フ一ノ金融機關ナリ、貸付ノ方法ハ無抵當、長期、低利ヲ常ト
ス、サレバ信用組合ヲ設クレバ資金ノ融通ニ便ナルノミナラズ、組合員ハ相
互ニ信用ヲ重シ、勤勉ノ美風ヲ養フニ至ルベシ。

購買組合ハ組合ノ産業又ハ生計ニ必要ナル物品ヲ購入シ之ニ加工シ或ハ加工セズシテ組合員ニ賣却スルモノニシテ、組合員ハ正確善良ナルモノヲ廉價ニ得ルノ便アリ。

販賣組合ハ組合員ノ生産物ヲ取揃へ又ハ加工シテ共同販賣スルモノナリ。之ニヨリテ生産物ヲ有利ニ販賣スルコトヲ得ベシ。

生産組合トハ組合員ノ生産物ニ加工シ、又ハ産業ニ必要ナル器械器具ヲ共同使用セムガ爲ニ組織スルモノナリ。

産業組合ハ各種ノモノヲ便宜兼營スルコトヲ得。

二、農業倉庫ハ農産物ノ依託保管ニ任ジ、共同販賣ヲナシ、又米券等ヲ發行シテ資金ノ融通ヲ圓滑ナラシムル機關ナリ。

備考

産業組合ハ明治三十三年法律産業組合法(明治四十二年ニ一部改正サル)ニヨリ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ設立スル社團法人ニシテ、組合員ノ共同ニヨリ資金ノ貸付貯蓄ノ獎勵、生産物ノ販賣、需用品ノ購入又ハ生産ニ必要ナル設備ノ利用ヲナスモノナリ。組合員ハ七人以上アルヲ要ス。組合員タルニハ購買組合ノ外ハ一定ノ産業ヲ有シ、一家ヲ立

ツル能力アリ、且相當ノ信用アルヲ要ス。組合員ハ組合ノ事業資金ヲ作ル爲ニ各一口乃至十口マテノ出資ヲ引受ケ、之ガ拂込ヲサザルベカラズ。一口ノ出資金額ハ五十圓以下ニテ定ム。組合員ハ通常六ヶ月前定款ノ規定ニテ二ヶ年マテ延長スルコトヲ得ニ豫告シテ組合ノ事業年度末ニ脱退スルコトヲ得。産業組合ニハ無限責任有限責任、保證責任ノ三種アリ、無限責任、保證責任ノ組合員ハ脱退後ト雖モ尙ホ二ヶ年間(此ノ期間ハ定款又ハ特別ノ契約ヲ以テ延長スルヲ得ベシ)ハ其ノ責任ヲ負擔セザルベカラズ。

産業組合ニハ其ノ意見ヲ定メ事務ヲ執ル機關トシテ總會、理事及ビ監事ノ三者アリ、總會ハ組合員ノ大多數ノ意見ヲ以テ組合ノ意見トナス爲設ケラレタル機關ナリ。理事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ選舉セラレ、外部ニ對シ組合ヲ代表シ、内ニアリテハ組合ノ義務執行ノ任ニ當ル。通常ハ理事三名位、其ノ任期ハ三年内外ヲ普通トス。監事ハ組合財産ノ狀況、理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルモノニシテ總會ニテ選舉セラレ、其ノ員數ハ二名位、任期ハ一年ヲ普通トス。

定款ハ組合ノ基本規定ニシテ組合設立者一同ノ合意ニヨリ成立ス。定款ニ記載スベキ重ナル事項ハ(1)組合ノ目的(2)名稱(3)組織(4)事務所(5)出資一口ノ金額及ビ其ノ拂込方法(6)第一回拂込金額(7)剩餘金處分及ビ損失分擔ニ關スル規定(8)準備金ノ額及積立方法(9)組合ノ資格(10)事業執行ニ關スル規定(11)組合員ノ加入脱退ニ關スル規定(12)存立時期等信用組合ノ區域ニ關スル規定等ナレドモ、尙ホ理事監事ノ人員及ビ任期、通常總會ノ開期、決議ノ方法等ヲモ記載ヲ

要スルコトアリ。定款ハ總會ノ決議ニヨリ變更スルコトヲ得ルモノナリ。

産業組合ヲ設立スルニハ地方長官ノ許可ヲ得ルヲ要ス。其ノ許可後、組合員ノ出資第一回ノ拂込ヲ終リタル日ヨリ二週間以内ニ事務所所在地ニ於テ設立ノ登記ヲナスナリ。

産業組合ノ事業經營ニ費ス資金ハ拂込出資金積立金借入金及ビ貯金ノ四者ヨリナル。拂込出資金ハ組合資金ノ主要ナルモノナリ。積立金ハ組合ノ基礎ヲ鞏固ニシ、且損失ヲ補填スル爲ニ毎年度末ニ剩餘金ノ四分ノ一以上及ビ其ノ他ノ特別ナル入金ヲ積立タルモノナリ。尙ホ組合ハ此ノ外ニ損失ノ填補器具、機械、建物ノ消却、講演會品評會ノ開設、町村圖書館ノ建設、道路改修指導標ノ設置、善行者ノ表彰、老人ノ慰安等ノ費用ニ充ル目的ヲ以テ特別積立金ヲ造ルヲ普通トス。貯金ハ信用組合ニ限リテ存スル資金ナリ。前記金額ニシテ尙ホ營業資金ニ不足ヲ感スルトキハ借入金ヲナスナリ。此ノ場合組合ハ日本勸業銀行又ハ府縣農工銀行ヨリ無抵當ニテ借入ヲナスノ便宜ヲ有ス。全國産業組合ノ資金ヲ調査シタルモノ次ノ如シ(大正二年度末)

種類	金額	調査組合類	一組合平均	一組合員平均
拂込出資金	一七一九三八五 _円	九三二八	一八四〇 _円	一五、七四
積立金	四六四七一四九	九三二八	四九八	四、二六
借入金	一一二四九一九四	九三二八	一三三三	一一、二二
貯金	二二七〇五八六五	七八八七	二八七八	三五、七〇

合 計

五六七七一九三

信用組合 六五三〇

六六、九三

大正三年度末産業組合ノ數ハ次ノ如シ。

信用以外ノ組合 三六五一

三一、二二

種類	全國	本縣
信用組合	三〇一五	三一
販賣組合	二三四	三
購買組合	五三五	二四
生産組合	一三三	一
信用販賣組合	四〇〇	一
信用購買組合	二五八二	七五
信用生産組合	三九	一
販賣購買組合	四六一	六
販賣生産組合	一四一	ト
購買生産組合	三七	ト
信用販賣購買組合	二六〇九	二二
信用販賣生産組合	九〇	一
信用購買生産組合	五七	一

第六十七課 産業組合及ビ農業倉庫

販賣購買生産組合

二三〇

二

信用販賣購買生産組合

九四六

一

合計

一一五〇九

一六五

信用組合ノ主目的ハ組合員ニ資金ノ貸附ヲナスニアリ。其ノ貸附ハ普通銀行ト異リ組合員ノ事業經營上ニ必要ナルモノタルヲ要ス。又資金ノ利子ハ低キヲ原則トス。コレ組合ハ營利ヲ目的トスルニアラズ、専ラ組合員ノ便利ヲ圖ルヲ主眼トナスガ故ナリ。サレド組合員ハ信用ヲ重シテ元利ノ返濟等確實ニスルヲ要ス。又貸附ハ組合員ノ信用程度以內ニ於テ無擔保ナルヲ原則トス。コレ理事及ビ組合員ハ日常互ニ相知リ、相互ノ性質平素ノ心懸ヲモ了解シ且着實勤勉ニ事業ヲ經營スルヤ否ヤ、或ハ借入金ヲ目的ノ通り使用スルヤ否ヤヲ互ニ監視シ得ベキガ故ナリ、無擔保貸附ヲナス爲ニ組合ニハ通例理事ノ外ニ信用評定委員アリテ、各組合員ニツキテ平素ノ心懸、勤勉、技能、節儉、健康、資金等ノ標準ニヨリテ評點又ハ等級ヲ附シ信用程度ヲ定ムルヲ常トス。

信用組合ガ貯金ノ取扱ヲナスハ主トシテ組合資金ヲ潤澤ナラシメンガ爲ナレドモ、又貯金ノ獎勵トナリ且組合員共濟ノ目的ヲモ達センガ爲ナリ。サレバ組合ハ適當ナル貯金方法ヲ定メ、組合員ハナルベク貯金ヲナスノ心懸ヲナスベシ。其ノ利子ハ郵便貯金又ハ銀行預金ノ利子ヨリハ少シク高歩ナルヲ普通トス。

大正二年度信用組合兼營組合ヲ含ムノ事業ノ大要ハ次ノ如シ(但調査組合數七八八七)

金額	金額	
	一組合平均	一組合員平均
貸付高	八四三四五五二 ^円	一〇六九四 ^円
償還高	四六四六三五五二	五八九一
年度末現在高	三七八八一九七五	四八〇三
貯金總高	六三五九二八六九	八〇六二
拂戻高	四〇八八七〇〇四	五一八四
年度末現在高	二二七〇五八六五	二八七八
		三五

勸業銀行農工銀行等ハ貸附ニ不動産抵當ヲ要スルガ故ニ實際上小農業者ノ利用ニ不便ナルコト多シ。信用組合ハ小農業者ノ金融ニ極メテ便利ナリ。加之組合員ハ相互ニ信用ヲ高メ、事業ニ勉勵セザルベカラザルガ故ニ、信用組合ハ地方民風ノ作興上ニ極メテ有効ナルモノナリ。

購買組合ノ目的ハ物品ヲ安價ニ購入シ之ヲ組合員ニ賣却シ、以テ組合員ノ事業ノ利益ヲ増シ生計ノ費用ヲ節約セシムルニアリ。凡テ多數ノ物品ヲ纏メテ購入スルトキハ個人ガ別々ニ少數ヲ購入スルヨリ低廉ナルヲ常トシ、且個人ニテハ品質ノ良否ヲ鑑別スルニ困難ナルコトアルモ、組合ニテハ比較的其ノ途ニ熟練ナル者購入ノ衝ニ當ル故精良ナルモノヲ購入シ得ル

利益アリ。組合が組合員ニ販賣スル物品ノ價格ハ日用品ナレバ市價ニヨリテ定ムルヲ原則トスベキモ、事業用品ハナルベク低廉ナラシムルモ可ナリ。又物品ハ現金賣ヲ原則トスルモ事業用品ハ組合員ノ事情ニヨリテ六ヶ月又ハ一箇年以内ノ延納ヲ許スモ可ナリ。購買物品ハ原料ノマ、購入シ之ニ加工シテ組合員ニ分配スルコトアリ、假令ヘバ各種ノ肥料ヲ購入シ之ヲ調合肥料トシテ組合員ニ分ツガ如シ、其ノ場合ニハ加工場ノ設備ヲナスコト勿論ナリ。大正二年度購買組合兼營組合ヲ含ムノ事業ノ概況ハ左ノ如シ

産業用品目	其賣上高	生計用品目	其ノ賣上高
肥料	九一九八五九九六	穀物(米麥雜穀)	三二五五二八九
農具	一一二八九〇	酒	一三〇九〇七〇
種苗	五〇一八二	鹽	五一〇一五三
蠶具及蠶種	四一七九五	石油	四五七九六四
其ノ他	六三三七二七九	其ノ他	三七六八三二四
計(調査組合)	一五七四〇七四二	計(調査組合)	九三〇〇七九〇
			四一九四
			三六

販賣組合ノ事業ノ目的ハ組合員ノ生産物ヲ組合ニ集メ、其品質ヲ整へ數量ヲ經メ之ニ加工シ又ハ加工セズシテ高價ニ販賣シ、以テ組合員ノ利益ヲ増加セシメントスルニアリ。組合ハ組合員ノ生産物ヲ買取りテ販賣スルコトアレドモ、組合員ノ委託ヲ受ケテ販賣スルモノ多シ賣却代金及ビ販賣時期ハ組合ノ最モ重大ナル項ナレバ、理事ハ常ニ市場ノ狀況ニ注意シ最善ノ力ヲ致スベク又組合員ハ理事ヲ信賴スベシ。組合ノ加工ハ物品ニヨリテ異ルコト勿論ナリ。組合員ヨリ集メタル玄米ヲ精白シテ販賣スルガ如キハ加工ノ一例ナリ。此場合ニハ農産物ノ價ヲ増シ、地方ノ仕事ヲ増シ且雜糶肥料トシテ殘ス等ノ利益アリ。大正二年度販賣組合兼營組合ヲ含ム事業ノ概況ハ左ノ如シ。

販賣物品	販賣價額	販賣物品	販賣價額	備考
生絲	一六四九二四〇二	麥	九一七一七七	
米	三〇二二五七九	蔬菜及果實	九〇一二一七	一組合平均 七八一六圓
織物	二九二六六二三	其ノ他	五八三八四六五	一組合員平均 六四圓
水産物	九五六一一二	計(調査組合)	三一〇四九〇七四	
			一七八	

生産組合事業ノ目的ハ組合員ノ生産上ノ便宜ヲ圖ルヲメ、其ノ生産物ニ加工シ、又ハ組合員ニテ事業ニ必要ナル設備ヲナシ組合員ニ使用セシムルニアリ。加工トハ組合ニ水車場ヲ設ケ組合員ノ玄米ヲ白米トナスガ如シ。組合ハ此際組合員ヨリ加工料ヲ徵集ス。使用トハ土地、建物、器具、機械等一個人ノ力ニテ準備シ難キモノ、若シクハ準備スルヲ不利トスルモノヲ組合ニテ備へ若クハ借入レ、之ヲ組合員ニ貸付クルコトニシテ例ヘバ揚水機、豆粕削器、噴霧器ノ使用ヲナサシムルガ如シ、此際組合員ヨリ使用料ヲ徵集ス。大正二年度生産組合兼營組合ヲ含ム事業

ノ概況左ノ如シ。

加工シタルモノ	加工料	使用セシメタルモノ	使用料	備考
乾繭・製絲・生絲ノ揚返	五九九三八圓	製絲機械	五二八九七圓	事業組合數四一五ニシテ一組合平均加工料二百八十圓
米麥ノ精白・麥ノ挽割搾等	一三五三	土地	一三二七六	一組合平均使用料三百九十二圓
染色織物仕上	四一〇一八	機臺荷車	一〇一四九	
其ノ他	一三九六一	其ノ他	八六六七三	
合計	一一六二七二	合計	一六二九九七	

産業組合ハ産業ノ發達個人ノ生計ヲ豐ナラシムル上ニ於テ、殊ニ本邦ノ如ク小農業者ノ多キ地ニテハ極メテ緊要ナル組織ナレバ、政府ハ之ガ設立ヲ獎勵シ之ガ健全ナル發達ヲ促スニ努ム。又國家ハ組合ニ對シテ種々ノ特典ヲ與ヘタリ、即チ組合ニハ營業稅及ビ所得稅ヲ免除シ、登錄稅ハ公益法人ト同様ニ低額トナシ、勸業銀行農工銀行ハ規定ニヨリ無抵當ノ貸付ヲナシ、政府ハ郵便貯金ノ一部ヲ以テ低利資金ヲ融通シ購買組合ハ鹽小賣人ノ指定ヲ受ケ、販賣組合ハ隨意契約ヲ以テ政府ニ其ノ需用物資ヲ納入スルコトヲ得ベシ。

農業倉庫トハ農業者ノ爲ニ其生産シタル物品ヲ保管スルヲ目的トスル倉庫ナリ。即チ農業倉庫ハ農業者ノ生産シタル米麥其ノ他ノ農産物ヲ保管ス。一般ニ小農中農ハ完全ナル倉庫ヲ有セザレバ其ノ保管ニ困難ナルヲ以テ農業倉庫ヲ利用スレバ完全ニ物品ヲ保管スルコトヲ

得ルナリ。サレド農業倉庫ハ一般人ノ營ム倉庫業トハ異リ、例ヘバ一般倉庫業ハ保管物品ハ寄托者別ニ區別スルモノナレドモ、農業倉庫ニ於テハ保管物ハ農業者ノ生産シタル物品ニ限リ、但シ附隨事業トシテ肥料等ヲ預ルコトアリ、且物品ハ品質ヲ検査シテ種類等級別トナシテ之ヲ預ルト共ニ品質不頁ナルモノハ之ヲ預ラザルガ如シ。コレ一般倉庫業ハ保管ヨリテ營利ヲ營ムモノナレドモ、農業倉庫ハ物品ノ販賣ヲナスト共ニ農業者全般ノ利益ヲ圖ルガ爲ナリ。

農業倉庫ハ保管物ニヨリテ農業者ニ金融ノ便ヲ與フ。其ノ方法ハ倉庫ハ金融ヲ望ムモノニ假渡金ヲ交附シ、保管物ヲ販賣シタル後其ノ代金ニテ差引クナリ。又米券ト稱シテ一種ノ物權證券タル倉荷證券ヲ發行シテ寄托者ニ交附シ、此證券ハ米自身ト同一ノ効力アラシムルコトアリ、但シ純然タル米券倉庫トナルトキハ、倉庫ハ預ケ主ガ農業者タルト商業者タルトト問ハザルモノトナリ、其ノ設備ハ商法ノ規定ニ依ルモノニシテ實際上農業者ノ利用ニ不便トナルベシ。凡テ中、小農業者ハ金融ノ關係ヨリ收穫ヲ待兼テ市價ノ安價ナルニモ拘ラズ收穫物ヲ賣却セザルベカラザルコトアリ、農業倉庫ヲ利用スレバ此ノ弊ヲ除ク故ニ農家ノ利益甚ダ多シ。農業倉庫ハ預ケ主ノ依託ヲ受ケテ保管物ヲ賣却スルヲ常トス。此ノ場合ハ共同販賣ナルヲ以テ個人別々ニ販賣スルヨリモ農業者ニ有利ナルベシ。

其他農業倉庫ハ依託ヲ受ケテ小作米ノ徵集肥料ノ共同購入等ノ附帶事業ヲナスコトアリ。農業倉庫ハ之ヲ經營スルニ特別ノ法律アルニアラズ、通例次ノ四種ノ中何レカニヨリテ經營

スルナリ(1)産業組合法ニヨルモノニシテ例ハ販賣組合ニテ組合員ノ米ヲ預リ共同販賣ヲナスガ如シ、又生産組合ニヨルトキハ組合ニテ倉庫ヲ設備シ組合員ニ使用セシムル形トナス、又信用販賣組合ノ規定ニヨルトキハ倉庫ガ金融ヲ圖ル上ニ便宜多シ、(2)地主組合ニヨルモノ(3)農會ニ於テ行フモノ(4)民法上組合ノ規定ニヨルモノ等ナリ、此ノ中産業組合ニヨルモノハ最モ便宜ナリ、コレ農業倉庫ハ公益的ノ倉庫ニシテ専ラ中小農業者ガ不當ニ商人ノ爲ニ制肘セラル、ヲ防ギ共同ノ力ニテ農業者ノ利益ヲ増進スルヲ目的トスルヲ以テナリ。

第六十八課 農家ノ共同

要旨 農家ノ共同經營スベキ主ナル事業、共同經營ノ利益及ヒ共同組合員ノ心得ニツキテ教フ。

教授事項

- 一、農家ノ共同經營スベキ事業 主要ナルモノトシテハ水路堤防ノ修築物品ノ購入及貯藏器械ノ使用、病蟲害ノ防除、種苗ノ育成、稚蠶ノ飼育、生産物ノ販賣、加工等ナレドモ其ノ他ニ掛カラズ。
- 二、共同經營ノ利益 一人ニテナスヨリモ行ヒ易ク且無用ノ勞力ト費用ヲ省キ

テ利益大ナリ。特ニ本邦ノ農家ハ多クハ小農ナレバ共同經營ニ利益ヲ享クルコトニ努メザルベカラズ。

- 三、共同組合員ノ心得 組合員ハ一致共同シテ互ニ信用ヲ重シ、常ニ組合全體ノ利害ハ自己ノ利害ト心得、永ク其ノ利益ヲ受ケンコトニ留意スベシ。

備考

道路水路堤防等ノ修築ニハ通例多數ノ勞力ヲ要シ其ノ作業ニハ力ヲ要スルコト少キモノ或ハ力ヲ要スルコト多クシテ數人協力ヲ必要トスルモノ等アリテ、共同經營ヲ利トスベシ。物品ノ購入ハ生計ニ要スル日用品ト事業用品トヲ問ハズ、小量ズ、別々ニ購入スルトキハ小賣商人ヨリ高價ニ買入レザルベカラザレドモ、共同シテ多數ヲ買入ル、トキハ問屋ヨリ安價ニ購入スルコトヲ得ベシ。殊ニ肥料ノ如キ品質ノ鑑定困難ナルモノニハ協同購入ニヨリ熟練ナル購入係リ選ビ優良ナル品質ノモノヲ求ムルコトヲ得ベク、且各人別々ニ購入ノ勞ヲ省クコトヲ得ベシ。收穫物、肥料等變質或ハ蟲害等ヲ受ケ易キモノヲ貯藏スルニ各人別々ニ完全ナル倉庫ヲ建設スルコトハ困難ナリ、農業倉庫ノ如キニヨリ共同貯藏スルヲ便トスベシ。中小農ハ高價ナル器械ヲ購入スルトキハ購入費ノ外維持費、購入費ノ利子等多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ使用上却リテ不經濟トナルコトアリ、斯ル場合ニハ共同使用ニヨラザルベカラズ。病蟲害ノ防除ヲ簡々別々ニ行フトキハ防除劑ノ調製或ハ作業上無益ノ勞費ヲ費スコト多ク、殊ニ病蟲

害蟲ハ一箇所ニ於テ驅除ヲ完全ニ行ヒタルノミニテ附近ノ驅除不完全ナレバ効果尠カルベケレバ多數農家ノ共同經營ヲ利トスベシ。種苗ノ育成稚蠶ノ飼育ノ如キ熟練ナル技術ト周到ナル注意ヲ要シ、然カモ繼續セル割合ニ多大ノ勞費ヲ要セザル作業ニアリテハ協同經營ノ効果甚ダ大ナルモノアリ、即チ共同ニヨリ熟練セルモノ、指導ニヨリ各人交替シテ管理ニ從フトキハ事業ノ成績良好ナルノミナラズ、各人ハ夫々他ノ業務ニ從フヲ得ベシ。生産物ノ販賣ハ購入ノ反對ニシテ少量ヅ、賣却スルトキハ安價ナレドモ多量ヲ經メテ賣却スルトキハ買フモノハ無用ノ勞費ヲ省クヲ以テ高價ナルベシ、殊ニ共同販賣ニヨリテハ品質統一サレ販賣時期ト方法トヲ比較的有利ニ選ブコトヲ得テ利益甚ダ多カルベシ。繭ノ殺蛹・乾繭ノ如キ箇人別々ニ行フヨリモ共同ニテ行フトキハ經濟的ナルノミナラズ技術モ良好ニ行ヒ得ベシ、凡テ生産物ノ加工ニハ新ル例多シ。

凡テ仕事ニハ一人ニテナシ得ザルコトヲ數人ニテ成就シ得ルコトアリ、之ヲ合力ト云フ。又一ノ仕事ヲ數種ノ簡單ナル行爲ニ分解シ數人ニテ各ヲ分擔シ成シ遂グルコトアリ、之ヲ分業ト云フ。分業ハ人ヲシテ最も適シタル職業ニ從事セシメ、老幼・婦女子ニモ適當ナル仕事ヲ得セシメ又作業簡單トナル故之ヲ習得熟練容易トナリ且終日作業ヲ換フルコトナケレバ無益ニ費スベキ時間ト面倒トヲ省クノ利益アリ。今日生産業ノ發達殊ニ工業ノ發達ハ分業ト合力ノ適當ニ行ハル、ニヨルコト大ナリ。農業ニ於テハ作業季節ニ制限セラレテ分業ノ利益割合ニ

少ケレドモ、農業ノ生産費ヲ減ジ多量ノ生産ヲササンニハ成ルベク分業ヲ應用スルヲ可トス。然ルニ小農業ニテハ作業、少ク分業合力ノ應用困難ナリ、サレバ農家ハ共同經營ニヨリテ分業合力ヲ十分應用シテ仕事ヲ容易ニ行ヒ且無用ノ勞費ヲ省クコト肝要ナリ。

共同經營ハ産業組合ハ無論共同經營ノ一ナリ、數人組合ヲ作りテ行フモノニシテ組合員ハ常ニ組合全體ノ利害ヲ自己ノ利害ト心得、互ニ信用ヲ重シテ組合ノ爲ニ共力一致スルコト肝要ナリ。各自己ノ利益ニノミ着眼シテ組合ニ對シ不信ノ行アルトキハ組合ノ事業ハ成績不耳トナリ遂ニハ其ノ利益ヲ擧グルコト能ハザルニ至ルベシ。

第六十九課 農村ノ自治

要旨 我ガ村(町)ノ公共事業及ビ村民ノ覺悟ニツキテ教フ。

準備 各自町村ノ地圖、村ノ面積、人口、戸數、住民ノ職業、産物、交通、納稅、貯金、其ノ他村勢ヲ示スニ足ルベキ事項ニツキテノ統計表。

教授事項

- 一、我ガ村 我ガ村ハ農村ナリ。
- 二、村ノ公共事業 村民共同ノ利益ト幸福トヲ増進センガ爲ニ教育、風俗、衛生、産業、經濟、慈善、救濟等ニツキテノ施設ヲ公共事業ト云フ。公共事業ノ成績ノ良

否ハ村ノ盛衰村民ノ幸不幸國家ノ盛衰ニモ關係スルモノナリ。
 三、村民ノ覺悟 村民ハ内ニアリテハ獨立自營シテ家ヲ齊ヘ、外ニ對シテハ隣保
 相戒メ相助ケ、一致共同シテ公共事業ニ盡シ以テ農村ノ發達ヲ圖リ、堅實ナ
 ル村風ヲ興スコトニ力メザルベカラズ。

備考

第一段我が村ノ項ニ於テ各自町村ノ狀勢ヲ教フベシ。即チ町村ノ位置面積氣象土地土地ハ
 官有地ト民有地トニ別チ民有地ハ更ニ田畑宅地山林原野等ノ有租地及ビ免租地又ハ其他ニ
 分ツヨシトス。戶數人口職業別人口職業別生産主要物産金融貯金納稅等ノ狀況村ノ沿革等
 ヲ調査シテ或ハ一覽表ヲ作製シオキ之ヲ教フベシ。

農村ノ自治トハ他ノ干渉ヲ受ケルコトナク國家ノ法規ニ從ヒテ村民自ラ村ヲ治ムルノ意
 ナリ。本邦ノ市町村行政ハ自治制度ニヨリ、即チ町村ニハ自治行政ノ機關トシテ市町村長及ビ
 助役並ニ市町村會アリ、町村長ハ一方政府ノ事務ヲ取扱フト共ニ町村ノ利益ノ爲ニ種々ノ計
 劃ヲナシ、之ヲ町村會ニ提案シテ一般民衆ノ代表者タル議員ノ協賛ヲ得テ之ヲ執行ノ任ニ當
 ルモノナリ。町村自治ノ運用ヲ圓滑ナラシメ之ヲ治績ヲ舉グルニハ村民ノ眞摯ナル協力ニ俟
 ザルベカラズ。サレバ本課ニ於テハ兒童ニ自治制度ヲ教フルノ必要ナケレドモ公共事業ノ大
 切ナルコト、及ビ之ニ對スル村民ノ覺悟ヲ教ヘ以テ農村自治ノ精神ヲ涵養スルヲ要ス。

農村ニ於ケル公共事業ハ村ニヨリテ各異ルモノナリ。今其ノ數例ヲ舉レバ次ノ如シ。(1)教育
 上ニテハ小學校ノ外ニ實業補習學校乙種實業學校實科女學校裁縫學校等ノ設ケアルアリ。或
 ハ青年會ニ夜學ヲ開キ或ハ圖書館ヲ設ケテ村民讀書ノ便ニ共スルアリ。(2)風俗改善ノ爲ニハ
 青年會母姉會ヲ設ケ在郷軍人會ト共ニ必要ナル種々ノ施設アルベシ。或ハ孝子節婦ノ表彰清
 新ナル娛樂會ノ開催夜警或ハ時刻報知法ノ設備納稅督促方法ニ關スル事項冠婚葬祭ニ關ス
 ル事項其ノ他ノ不長ナル風俗ノ矯正ニツキテ種々ノ規約ヲ設ケルコトアリ。(3)衛生上ニハ水
 道下水ノ整備汚物道路ノ掃除浴場洗濯場ノ設立飲食食物ノ取締兒童遊戯場ノ設限疾ノ療治傳
 染病發生ノ際ニ於テ取締法等アルベシ。(4)産業及ビ經濟ニ關シテハ農會産業組合同業組合營
 業組合山林畜産水産ニ關スル組合水利組合等ノ設立産業講習講話會或ハ技術傳習會等ノ開
 催品評會共進會ノ開催土木工事電燈瓦斯電車馬車ノ設置金融上ノ便宜貯金ノ獎勵等ニ亘リ
 其ノ種類多カルベシ。(5)慈善救濟ニ關シテハ老人慰安會孤兒扶育場貧民住宅ノ設置職業周旋
 ノ取扱ヒ、疾病互助法ノ制定慈善療養所ノ設立戰時救濟事業ノ如キ等アルベシ。而シテ多クノ
 優良ナル町村ニハ夫々適切ナル町村是ヲ作製シテ村民ニ農村改良ノ目標ヲ示スコトアリ。
 公共事業ハ村ノ爲即チ村民自身ノ利益ト幸福ノ爲ニ設ケアル、モノナリ。之等公共事業ノ
 成績舉レバ村民ハ身體健康ニ各平和安寧ノ間ニ産業榮へ、富加リ幸福ナル生活ヲ營ミ得ルナ
 リ。斯クシテ村ハ繁榮スルニ至ルベシ。本邦ニハ約一萬二千ノ町村アリ、之等ノ町村ハ國家ノ基

礎トナルモノニシテ町村ノ盛衰ハ國勢ノ消長ニ關係スルモノナリ。

村民ガ各自獨立自營シテ家ヲ齊ヘ、互ニ一致團結シテ公共事業ニ盡スコトハ農村自治ノ精神ニ沿フモノニシテ農村降盛ノ始ナリ。由來日本人ハ國家ヲ思フノ念ハ甚ダ強ク遙カニ各國人ノ上ニ出ヅ、サレドモ鄉村ヲ愛護スルノ念ハ歐人ニ比シテ劣レルモノアリ、コレ本邦町村自治制ノ運用完全ナラザル一原因ナリト云フモノアリ、味フベキナリ。

第七十課 農業教育

要旨 農業教育ノ目的學校ノ種類及ビ農家ノ子弟ト農業教育ニツキテ教フ。
教授事項

- 一、農業教育ノ目的 農業ニ關スル知識ト技能トヲ授ケ且善良ナル農民ヲ養成スルヲ目的トス。
- 二、農業學校ノ種類
 - 1、學校ノ種類 農業補習學校、乙種農業學校、高等農林學校、農科大學
 - 2、本縣ニ設立セル農業學校
 - イ、農業補習學校

- ロ、乙種農業學校
- ハ、甲種農林學校
- 三、農家ノ子弟ト農業教育 農業者タルニハ農業上ノ智識深ク技能ニ熟達シ且品性ヨキヲ要スル故、農家ノ子弟ハ一家ノ事情ニ鑑ミ相當ノ農業教育ヲ受クベシ。

備考

農業補習學校ハ縣下ニ百九十六校、其ノ生徒數男子四八二〇、女子五五一名アリ(大正三年度) 農業補習學校ハ現ニ農業ニ從事スル子弟ニ夜間又ハ農閑ヲ利用シテ農學ヲ授ケテ職業的教育ヲ施シ、兼テ青年ノ品性陶冶ニ資スル所アラントスルモノニシテ通例尋常小學校卒業以上ノ學力アルモノヲ入學セシム。本縣ノ狀況ヲ視ルニ義務教育即チ尋常小學校ヲ卒業セルモノニシテ尙ホ程度高キ學校ニ入學スル者ハ全卒業者ノ四割三分餘ニシテ約五割六分ハ農業商業工業其ノ他ノ實務ニ從事スルモノナリ(大正三年度ノ統計ニヨル)サレバ農家ノ子弟ニシテ義務教育ヲ受ケタルノミニシテ農業ニ從事スル人ハ甚ダ多シ、之等ノ人々ニハ農業補習學校ハ極メテ必要ナリ。何トナレバ今日ノ農業ハ往古ノ農業ト異リ甚ダ複雑ナレバ單ニ經驗ト自己ノ筋内の力量ノミニテハ勢力ノ効果ヲ充分ナラシムルコト困難ナルノミナラズ、コノ青

年期ニハ社會ノ惡風ニ感染シ易キヲ以テナリ。

乙種農業學校ハ多クハ尋常小學校卒業者ヲ入學セシメ、二ヶ年若クハ三ヶ年農學ヲ教ヘ農業ニ關スル技術ヲ修得セシメ、卒業後其農民タルニ適スルモノヲ養成スル所ナリ。本縣ニテハ有田郡組合立吉備實業學校、日高郡組合立日高第二實業學校、西牟婁郡組合立上富田實業學校、東牟婁郡組合立太田實業學校等ハ之ニ屬シ、其ノ他ニモ已ニ設立セラレタルモノ、又ハ將ニ設立ノ計畫アルモノ多シ。

甲種農業學校ハ高等小學校卒業程度ノ學力ヲ有スルモノヲ入學セシム。若シ豫科ヲ設ケタルトキハ尋常小學校卒業者ヲ之ニ入ラシムルコトアリ。本科ハ三年又ハ四年ニシテ乙種農業學校ノ程度ノ高キモノナリ。中農經營者ヲ養成スル所ニシテ、農業科ノ外、林業科ヲ兼設セルモノアリ、蠶業ヲ主トスルモノアリ。本縣ニハ縣立日高農林學校、日高郡御坊町ニアリ。甲種農業學校ニシテ林業科ヲ併設セリ。

專門學校程度ノ農業學校ニハ現今官立ニ盛岡鹿兒島鳥取ノ三高等農林學校、東京、北海道兩農科大學ニ實科アリ。東京、京都蠶業、上田ノ蠶絲專門學校等アリ。公立ニテハ千葉縣ニ蠶絲專門學校アリ。私立ニ東京農業大學アリ。是等ノ學校ニテハ中農以上ノ地主、農業技術員或ハ教師ヲ養成スルモノナリ。

大學程度ニハ東京、北海道兩大學ニ農科大學アリ。農學科、農藝化學科、林學科、獸醫科、水產科等

ノ分科アリ。大學ハ夫々學問ノ蘊奧ヲ究ムル所ニシテ學者大地主、上級農業技術員又ハ教師タルモノヲ養成ス。

農業經營者タルト其ノ雇人タルトヲ問ハズ、農學ノ知識深ク技術ニ熟練セルモノノ勞力ノ効果ハ然ラザルモノニ比シ優レルハ勿論今日ノ農業ハ農學ヲ應用セルモノナレバ農業者ガ農學ノ知識ヲ有スルコトハ甚ダ必要ナリ。將來ノ農家ノ發達ヲ促シ自家農業ノ繁榮ヲ圖ル爲メニ農家ノ子弟ハ一家ノ事情ニ鑑ミテ相當ノ農業教育ヲ受ケルヲヨシトス。

第七十一課 農業ト國家

要旨 農業ハ國家富強ノ基ニシテ甚ダ貴重ナル職業ナルコトヲ教フ。

總論 我國各種產業生産額比較表、同納稅額比較表、農工商業者ノ壯丁體格檢査成績比較表

教授事項

一、農業ト國ノ富 國家ノ富ムハ産業ノ盛ナルニヨル、我が國ニ於ケル農業ハ他ノ産業ニ比シテ生産物最多ク且農業者ノ納稅ノ負擔亦最大ニシテ實ニ我が國、立國ノ大本タル産業ナリ、又農業ハ商工業ノ基礎ヲナス業ナリ、サレバ農業盛ナレバ國ハ富ムベシ。

二、農業ト強兵 農民ハ農業ニヨリテ國民ニ衣食ヲ給シ、愛國ノ精神ニ富ミ且身體強健ニシテ軍人トナルニ適ス、サレバ農民多ケレバ兵強ク國安全ナリ。

三、農業ト國家 農業ハ富國強兵ノ基ヲナスモノニシテ甚ダ貴重ナル職業ナリ。

備考

農商工業ノ生産業盛ナラザレバ國家ハ富裕トナラザルベシ。歐米ノ強國ガ富ノ程度ニ於テ本邦ニ優ル所アルハ今次ノ歐洲戰爭ニ際シテ英、米、佛、獨等何レモ本邦人ヲ驚カスベキ巨額ナル軍費ノ負擔ニ堪フルニテモ明ナリ。今ヤ本邦ハ國勢ノ伸張ト共ニ公私共ニ資金ヲ要スルコト甚ダ多ク、極力國家ノ富裕ヲ圖ラザルベカラザルノ秋ナリ。コレガ爲ニハ産業ノ發達ヲ圖ルコト極メテ大切ナリ。

農業ハ本邦ニ於ケル主要ナル産業ナリ。(1) 農業者ノ數ハ全人口ノ六十%ヲ占メ(2) 農業生産物ハ一ケ年十七八億圓ニ達シ生産業中最モ多シ(3) 海外輸出品トシテモ農産物ハ其ノ價格全輸出額ノ四割ヲ占メ(4) 農業者ノミノ負擔スル租稅地租及田稅ハ商工業者ノミノ負擔スル租稅營業稅、礦業稅等ニ比シテ約倍額ニ達シ全租稅ノ一割六分ニ達ス(經常歲入ノ約一割之等ニヨリテモ農業ノ本邦ニ於ケル主要産業ナルヲ知ルニ足ルベシ)。又農業ハ衣食住ノ原料ヲ供給スルモノナレバ他ノ商工業ハ多クハ之ヲ基礎トシテ立ツモノナリ、サレバ農業盛ナラザレバ商工業モ盛ナル能ハザルベシ、尤モ工業中ニハ本邦ニ産セザル羊毛、綿等ノ外國産原料ニヨル

モノアリ、斯クノ如キハ安全ナル工業ニアラザルベシ。例ヘバ綿ノ原料地ナル印度、北米或ハ印度ノ本國タル英國等ニテ綿製品工業一層發達スレバ之ガ影響ハ直チニ來ルベク、羊毛ノ原料產地ナル濠州ハ歐洲戰爭中屢々本邦ヘノ羊毛輸出ヲ禁止シ爲ニ本邦ノ毛織物業ハ休業ノ止ムナキニ至レルガ如シ、サレバ凡テ工業ハ出來得ル限り原料ヲ内地或ハ屬領地ニ於テ生産スルハ工業安全ノ基ナリ。歐洲戰爭ハ本邦ノ産業ニ異常ナル影響ヲ及ボシ、本邦商工業ハ一時ニ勃興シ、海外ニ販路擴張ノ途ヲ増シタリ、之モトヨリ國家ノ爲慶賀スベキコトナレドモ本邦商工業ノ大部分ハ國內取引ヲナスモノニシテ其ノ消費者ハ實ニ農業者ナリ、サレバ農業ノ發達ニ伴ヒテ之等大多數ノ國內取引商工業者モ其ノ發達ヲ促サルベシ。

國內ニ農業盛ナレバ國民ノ食物及ビ衣服ハ他ニ輸入ヲ仰グノ必要ナク、國民ハ安全ニ衣食スルコトヲ得ベシ。殊ニ戰時ニ於テ國民食糧ヲ自給シ得ルハ國家トシテ大ナル強味ナリ。歐洲戰爭ニ於テ獨乙側ニ食糧自給ノ途ナカリシナラバ少時ニシテ英佛側ニ和ヲ乞ハザルヲ得ザルニ至ルベク、英本國ニ於テハ約四千萬ノ人口中農業ニ從事スルハ其ノ一割ニシテ國民食糧ノ四分ノ三ハ海外ヨリノ輸入ニ仰グリ、サレバ英國ハ平時多額ノ費用ヲ以テ強大ナル海軍ヲ備ヘ、食糧輸入ノ安全ヲ保證セリ、サレドモ歐洲戰爭ニ當リ獨乙ノ潜水艇戰策ニヨリ著シキ威脅ヲ受ケタルガ如キ戰時ニ於ケル食糧自給ノ必要ナルコトヲ知ルニ足ラン。

農業者ハ常ニ野外ニアリテ新鮮ナル空氣ト日光ノ下ニ勞動スルガ故ニ身體概シテ強健ナ

レドモ、商工業者ハ都會ニ住シ、不潔ナル空氣ヲ呼吸シ、多クハ室内ニテ執務スルガ故ニ運動不足スルコト多ク、又工業者ハ分業ノ結果單一ナル作業ニ從フ故身體ノ汪弱ナルモノ多シ。英國ニテハ千人中七十歳以上ニ達シタルモノ農業者ニ四十八人、商業者ニ三十三人、工業者ニ二十八人、醫師ニ二十四人ナリシト云フ。明治四十年ノ本邦徴兵検査ノ成績ニヨレバ甲種合格者ハ郡部四〇、市部三二、乙種合格者ハ郡部三一、市部三四ニシテ丙種以下ハ郡ニ少ク市ニ多シト云フ（百分率）明治三十年ニ於ケル本邦人口百人ニツキ出産者ト死亡者トノ割合ヲ比較セルモノヲ見ルニ都會ニテハ出産二、四〇死亡二、一一ナルニ田舎ニテハ出産三、一八死亡二、〇九ナリシト云フ。ロンドン市ニテハ市ニ住居スルモノハ三代ニシテ子孫絶ユト云ハレ、西諺ニ都會ハ人生ノ墓場ナリトアルガ如キ、皆都會ニテ商工業ヲナスモノ、健康不良ナルヲ指セルナリ。農業者ノ健康ニシテ長壽ヲ保テ得ルコトハ實ニ農業者自身ノ幸福ナルノミナラズ國家ノ爲利益大ナリ。

農業ハ土地ニヨリテ立ツモノナリ、サレバ農業者ノ土地ヲ愛スルノ念ハ甚ダ強シ。國家ハ土地ノミニテ成立スルニアラザレドモ土地ハ國家成立ノ大ナル要素ナリ。サレバ農業者ノ愛國ノ精神ハ一般ニ商工業者ニ優ルモノアリ。殊ニ都會ハ人情輕薄ニシテ利己的ナルモノ多キニ農業者ハ常ニ自然ヲ伴トスルガ故ニ比較的朴直ニシテ從順ナル美風ヲ有ス。

農業者ハ兵士トシテ優良ナル素質ヲ有ス、昔藤澤藩山ハ、農兵トナレバ我が國ノ武勇格別強

ク眞ニ武國ノ名ニ叶フベシ、士農分レテヨリ此方身病ミ手足弱クナリ、又心バカリ勇ムトモ敵ニモ遇ハテ疲ルベク又病死モスベシ云々ト、封建ノ時代ニテモ斯ノ如シ、方今ハ推シテ知ルベキナリ。サレバ國內ニ農業者多クレバ兵強カルベシ。

農業ハ富國強兵ノ基ナリ。獨逸前總理大臣、ビュローロ曰ク、農業ハ經濟ニ於テ國ノ本タルノミナラズ軍事ニ於テモ實ニ獨逸帝國ノ脊骨ナリト。昔ヨリ都府ノ人民ニシテ國ヲ建タル歴史無キモ農業ヲ捨テ、亡ビタル國ハ甚ダ多シ。現今本邦ノ商工業ハ一層隆盛ナランコトヲ望ムモノナレドモ之ト共ニ農業ハ更ラニ一層之ヲ發達セシムルノ要アルハ之ガ爲ナリ。

第七十二課 農業者ノ心得

要旨 農家ノ青年ニ品性ノ修養ト勤儉ノ必要ナルコトヲ教フ。

教授事項

- 一、農業者ト品性ノ修養 農家ノ子弟ハ勞動ヲ貴ブト共ニ品性ノ修養ニ力メ以テ良農タランコトヲ期スベシ。
- 二、農業者ト勤儉 農家ノ青年ハ勤勉以テ收入ノ増加ヲ圖リ、儉約シテ貯蓄シ以テ身ヲ立テ家ヲ興スノ心懸アルヲ要ス。

備考

農業教科書教師用參考書 卷二

四一六

勞力ハ其筋肉的ナルト精神的ナルトヨ間ハズ生産業ノ重要ナル要素ナリ。産業ニ從フモノノ勞働ハ其ノ作業ノ如何ヨ間ハズ皆凡テ國家人民ノ繁榮ノ基礎トナルモノニシテ神聖且貴重ナルモノナリ。ザレバ人ハ幼時ヨリ勞働ヲ好ミ、安逸ヲ惡ムノ習慣ヲ養成スルコト甚ダ大切ナリ。

勞働ニ從事スルモノハ筋肉的作業ニ重キヲ置キ、且周圍ノ境遇ヨリ精神的修養ヲ輕視シ品性低キ憾ナキニアラズ、殊ニ青年勞働者ニ其ノ傾向アル者尠カラズ。或ハ卑猥ナル言行ヲ意トセズ、或ハ公德ヲ犯シテ恥ヂズ、或ハ他人ニ對シ禮讓ヲ失シ信義ヲ守ラズ唯利ニノミ走リテ放縱ナル生活ヲナシ、世ノ信用ヲ失ヒ、世人ノ聲譽ヲ受クルモノアリ。斯クノ如キハ勞働ノ神聖ヲ傷ケ、人トシテ世ニ立ツノ途ニアラザルナリ。勞働ニ從フ青年ハ深ク留意シテ品性ノ修養ニ力メ、個人トシテモ公人トシテモ恥シカラザル真農タランコトヲ期スベキナリ。

農業ハ商工業ノ如ク一攫千金ノ利益ハナケレドモ其ノ收入ハ甚ダ安全ナリ。之農産物ニハ食物多ケレバ其ノ需用ハ略一定セルヲ以テナリ、然ルニ商工業ハ其製造販賣スル物品ノ販路ハ常ニ一定セズ、販路閉塞ケレバ巨萬ノ富一時ニ來ルモ一旦販路閉塞スレバ失敗シテ倒産スルモノ多シ。ザレバ商工業者ニハ巨萬ノ富豪トカラザレドモ極貧者甚ダ多シ、獨逸ニ於ケル貧富ノ職業別調査(一八九六年)ヲ舉レバ次ノ如シ。

	富豪	中産者	貧困者
農業者	一一、〇	八三、〇	一六、〇
工業者	二、六	四六、四	五一、〇
商業者	〇、九	五〇、八	四八、三

農業ハ季節ニ從フヲ以テ時ニヨリ繁閑アリ、閑時ハ不知不識ノ間ニ悠々トシテ勞力ヲ徒費スルコトアリ。農業者ハ繁時ハ勿論農業ニ力メ、閑時ハ適宜副業ヲ營ミテ常ニ勤勉シテ收入ノ増加ヲ圖ルコト肝要ナリ。

儉約トハ無益ノ失費ヲ省クコトニシテ農業生産ノ爲ニ有益ニ資金ヲ用ヒ身分相應ノ支出ヲナスハ必要ナリ、サレドモ資金ノ支出モ少クシテ效果ノ舉ル様例ヘバ肥料ノ如キ高價ナルモノヲ購入スル代リニ安價ナル自給肥料ヲ製作スルガ如キ工夫ハ甚ダ必要ナリ、廢物ハ常に注意シテ之ヲ利用スル様ニ心懸ルコトモ儉約ノ一方法ナリ。農業ハ生産物ヲ賣却セシトキ一時ニ多額ノ金錢ヲ手ニスルモノナレバ收支正確ニ行ハレズシテ支出ノ多クナリ易スキモノナレバ注意スベシ、例ヘバ先ノ收入ヲ見越シテ多額ノ買入ヲナシ、收入アリタルトキ不必要ナルモノヲ買入ル、ガ如キハ宜シカラズ。近來農家ノ青年ニシテ或ハ衣服ヲ美ニシ、或ハ飲食ニ多額ノ出費ヲナシ、或ハ卷煙草ヲ嗜シテ得々タルモノ増加スルノ傾向アリ、之等奢侈ノ行爲ハ最モ慎ムヲ要ス。

近來農家ノ青年殊ニ都會附近ノ農村ノ青年ニシテ一時ノ暴利ヲ夢ミ、投機事業ニ手ヲ出シ
 株ノ買賣ナドナスモノアリ、之等ハ農業ノ貴重ナルコト及ビ農業ノ性質ニツキテ十分ナル自
 覺ナキノ證ニシテ甚ダ憂フベキ現象ナリ。農業者ハ農業ニ對シテ深カキ自覺ヲナシ、孜々トシ
 テ忠實ニ業ニ服スルコト甚ダ肝要ナリ、之ヲガテ身ヲ立テ家ヲ興スノ基タルナリ。古來愚慢驕
 奢ニシテ家ヲ興シタルモノハアラザルナリ。

本課ノ教授ハ修身課ト連絡ヲ取り、二宮尊徳其ノ他ノ古人或ハ鄉村ニ於ケル模範的農業者
 ノ言行ヲ引キテ農業者トシテ處世ノ要道ヲ悟了セシメ、兒童ヲシテ農業者トシテ大ナル覺悟
 ヲ持タシムルコト肝要ナリ。

農業者ノ心得トシテハ尙ホ農學ノ研究、經驗、農事改良、公共事業ニ對スル心得自作、小作人ノ心
 得等皆必要ナレドモ夫々他ノ課ニ於テ教ヘタレバ本課ニ於テ總括スルコトモ必要ナリ。

農業教科書教師用參考書

卷二終

大正七年六月九日印刷
 大正七年六月十二日發行

新定農業教科書教師用參考書

著作權所有證

著作者
 發行者
 右代表者
 印刷者

和歌山縣教育會
東京市日本橋區淺草橋町三番地
 合資會社 六 盟 館
 杉本 七百丸
東京市京橋區日町二十五番地
 高橋 郁

販賣所

和歌山市新通り一丁目
 和歌山市福町

宮井宗兵衛本店
 宮井支店

工156-15

合資
會社
六盟館
發行圖書
大販賣所

東京市京橋區
南傳馬町二丁目
電話東京二一六三番
振替口座東京二八〇九番
目 黑 書 店

東京市日本橋區
磯町
電話神田一三一三番
振替口座東京三〇九〇番
榑 原 書 店

東京市日本橋區
本石町二丁目
電話本局一六九八番
振替口座東京五六一三番
杉 本 書 店

長岡市表四ノ町
電話長岡一八番
振替口座東京三六一九番
目 黑 十 郎

長野市大門町
電話長岡一二四番
振替口座東京一〇七〇番
西 澤 本 店

終